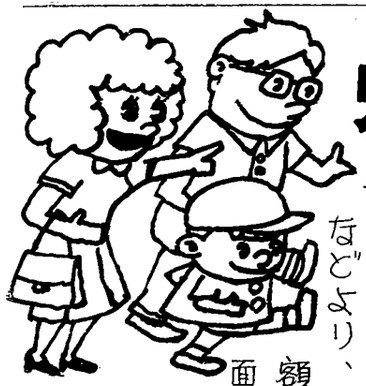
日刊 動労千葉
81.10.26
No. 878
家庭版 もちかえり版
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！



家族そろって 第3回 団結祭典 運動会へ

動労千葉サークル協では、例年盛大に開催されている団結祭典・大運動会を来る11月1日(日)に千葉鉄道学園グランドで開催することとなりました。この大運動会の成功にむけて今準備が進んでいます。プログラムは既に決定し、各支部に配布しましたので御存知の方も多いかと思いますが、今年も「全員参加」をモットーに楽しい、交流、親睦の一日となるような競技を盛り込みました。

各支部組合員・家族の皆さん、多数の参加をお願いいたします。

すばらしい力を発揮した組合員・家族の団結力

動労千葉は、この間81・3ジェット決戦闘争というかってない闘いを闘いぬき、その後の解雇千名をはじめ大量不当処分攻撃さらに、動労「本部」反動分子による「6・12津田沼事件」デッチあげ―警察権力への告訴―6名の仲間への不当逮捕・長期勾留、3名への起訴攻撃など「正しい事は正しい」と筋をまげず信念の闘いを貫くが故の見せしめ的な報復処分もかけられてきました。しかしそんなことでへこたれたり、筋をまげて泣きを入れるような動労千葉ではありません。1300組合員と五、000名をこえる家族は逆に一層団結と闘志をうち固め、一人の脱落者も出さずますます元気に闘い前進しています。

このような私達動労千葉の姿を見て「動労千葉を守れ」「動労千葉に続こう」という全国の闘う仲間たちの声と闘いがどんどん拡がっています。例えば、三里塚芝山連合空港反対同盟の多くの農民の方々から様々な物心両面の心のこもった激励会や50万円に及ぶ支援基金カンパが寄せられ、更に千葉県下はもとより遠く沖縄、北海道含む全国の労働者・学生・住民・文化人などより、数ヶ月のうちに約三千万円もの巨額の支援基金カンパが寄せられ各方面から注目を浴びているのです。

戦争への足音がする……だから、今こそ示せ組合の底力

いま、政府・自民党による軍備増強、憲法改悪、「行政改革」＝国鉄大合理化、退職金・年金削減など戦争と反動への政治が急ピッチで進められています。この攻撃に対して社会党・共産党など野党勢力と労働組合運動の無力化と屈服が進む中で、今こそ労働組合運動の真のあり方が問われています。

政府・自民党のなすがままに放置し、企業再建の合理化に協力していく事は、再びまたあのいまわしい戦争に狩り出される道であり、また怒りにたえない夕張炭鉱での大量の労働者虐殺への道であるにちがいありません。

私達動労千葉は、先に開催された第6回定期大会において、労働運動の原点を守り81・3闘争を闘った力を更に押し拡げ、戦争と生活破壊への道を阻止するために、三里塚闘争を軸として全国の闘う仲間と共に前進することを決定しました。

11月1日(日) AM.9時開会

千葉鉄道学園グランド ［雨天の時は11月3日(祭)］

★ 入場の際入口で、おなじみ「抽せん券」を全員投票しておいて下さい。新鮮な三里塚野菜、その他 あたのしみの景品をドッサリ準備しました。

みんなの参加で団結祭典を成功させよう

私たちは「闘い、学び、遊ぶ」ことを通して、一歩一歩前進してきました。

11月1日(日)、の第3回団結祭典・大運動会を団結の力で成功させようではありませんか。

組合員・家族のこぞっての参加を要請します。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！